

■ 歳入歳出決算状況

会 計		年 度	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		令和2年度	361億0343万	351億4960万	9億5383万
		令和元年度	288億0212万	280億7898万	7億2314万
特別会計		令和2年度	120億5124万	118億7477万	1億7647万
		令和元年度	119億5017万	117億4985万	2億0032万
事業会計 (収益的収支のみ記載)	水道	令和2年度	11億5232万	10億0587万	1億4645万
		令和元年度	11億1862万	10億4236万	7626万
	下水道	令和2年度	26億1298万	26億0933万	365万
		令和元年度	26億6736万	26億3255万	3481万
	病院	令和2年度	58億6360万	53億1697万	5億4663万
		令和元年度	50億4807万	51億2599万	△7792万
	介護老人保健施設 (陽光の里)	令和2年度	4億9303万	4億8713万	590万
		令和元年度	4億7053万	4億7069万	△16万

■ 健全化判断比率の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	県内市町平均 (R元年度)	早期健全化 基準※
実質赤字比率 (一般会計を中心とした赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	12.64%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	17.64%
実質公債費比率 (年間の借入返済額の割合)	10.5%	10.0%	9.3%	9.5%	5.9%	25.0%
将来負担比率 (将来負担が見込まれる負債の割合)	43.6%	31.1%	22.6%	15.0%	—	350.0%

◆健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたものです。
※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります。

- 地域通貨「アイカ」の配布による地域経済の活性化
高島市民全員に1人あたり1万円分を配布します。
- 高島がんばる事業者サポート給付金
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した事業者に対し、一律10万円を支給します。

補正予算の主な事業

第8弾たかしま応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症拡大により低迷する地域経済を活性化し、市民生活を支援します。



- 公共施設無線ネットワーク環境整備事業
市民活動や社会教育活動の拠点となる公共施設（公民館など）において、デジタル通信環境を整備します。
- 採決の結果
予算常任委員会が付託を受けた6議案は、いずれも「可決すべきもの」と決定しました。

